

伸び悩んでいる
B級諸君に捧ぐ!



付録DVD
連動企画



Completely imitate the professional
"break and run out"

マスワリ完コピ 大作戦!

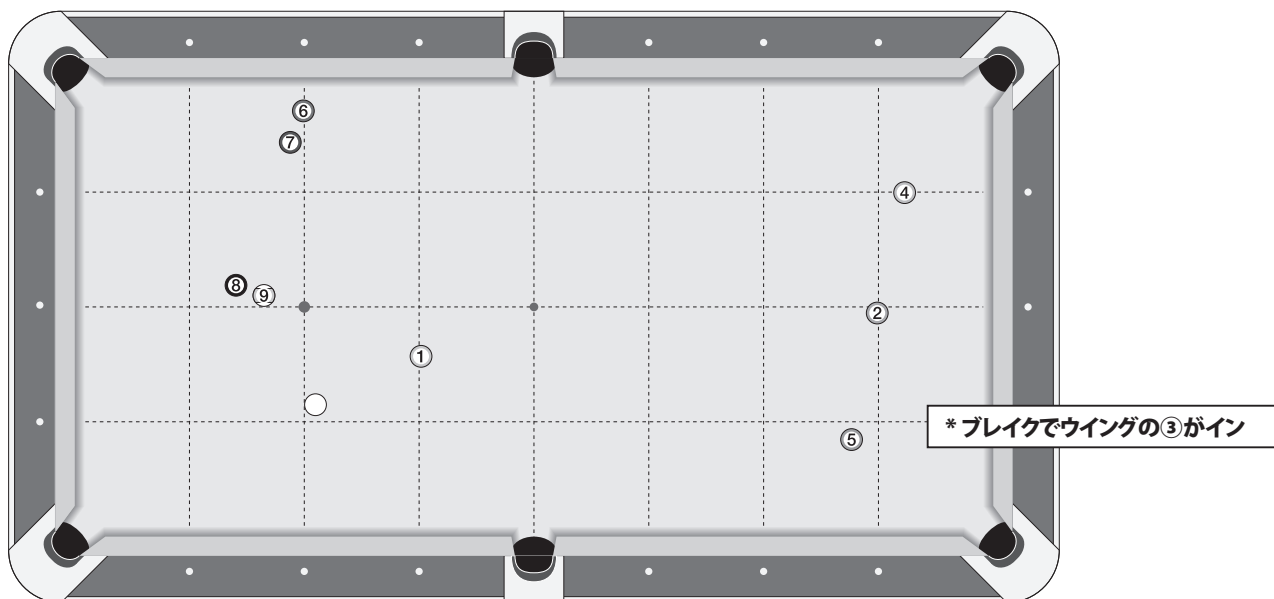
プロのマスワリをB級が完全コピーする。はたしてそんなことが可能なのか?
入れや出しにいろいろな技術を使う配置で小西さみあプロにマスワリしてもらい、同じ配置でアマチュアに完コピチャレンジしてもらう。
たまにマスワリは出るが量産できない——そんな悩めるB級は本誌とDVDをcheck it out!

取材協力／AZ.Place(東京・東中野) 取材・文／栗本由美



挑戦するマスワリの配置

小西プロは男子プロ並みの破壊力のあるブレイクのため、ブレイクで2〜3個落ちてしまう。あまりたくさん落ちるとマスワリが簡単になりすぎるため、何度かブレイクしてもらった。1個インで以下の配置になった時、挑戦者が「この配置でマスワリしてみたい」と意欲を見せたので、挑戦する配置は以下に決定した。



●ルール

【1】小西プロがブレイクショットをし、挑戦課題にふさわしい配置になったところで全ての球の位置にスポットシールを貼る。ブレイクインは1球、トラブルなしをマスワリ挑戦条件とした。

* ブレイクでたくさん入りすぎるとマスワリ練習にならない、トラブルがあると難易度が高すぎるため

【2】1球1球解説を交えながら小西プロがマスワリをする。

【3】挑戦者はブレイクショットは行わず、同じ配置(スポットシール位置)からスタートし、マスワリにチャレンジ。

* 「同じポケットにシュートする」のが最低条件で、厚

み・フリが変わってもリカバリーできる範囲であればセーフとする

【4】挑戦者は、ノーアドバイスでチャレンジ。チャンスは3回。3回でマスワリできなかったら、1球1球小西プロのアドバイスを聞きながら挑戦する。

●この配置でマスワリする際のポイント

【1】まずチェックするのは並んでいる⑥⑦と⑧⑨。⑤から⑥への出し(フリ)を間違わないようにし、⑦に厚めに出せるようにする。そして⑧を左下のポケットに取れるように。

【2】前半は、①から②へ出す際の押しの加減に注意。②は右上ポケットが通っていないので、右下ポケットに入れられるように。



プロプロフィール
小西さみあ
Samia Konishi

JPBA52期生(2018年プロ入り)
14歳でジュニア世界選手権銀メダル。アマナインや国体記念大会で複数回の優勝を果たし、2018年にプロに転向。2019年のJPBAランキングは6位。



挑戦者 プロフィール
井手菜摘
Natsumi Ide

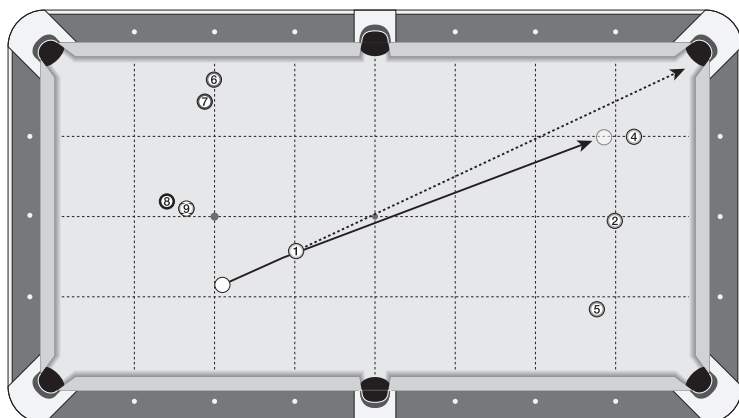
システムエンジニア(26歳)
ビリヤード歴:6年
クラス:B級/JPA(SL7)
「ブレイク後の配置を見た時に、どこがポイントになるかの判断がうまくできていない、できたとしてもショットの選択が間違ってしまうことがあって上手くネクストに出せないなどの悩みがあります。今回はあこがれの小西プロに少しでも近付けられるように、マスワリ完コピを成功させたいです!」

お手本

挑戦者

小西プロのマスワリ徹底解説

小西プロのマスワリを、1球1球丁寧に解説を付けて配置を紹介しよう。マスワリまでの8球には、押し、引き、順ヒネリ、逆ヒネリ(切り返し)、穴フリなど、さまざまなテクニックが詰まっている。付録DVDの映像と共に確認していこう。

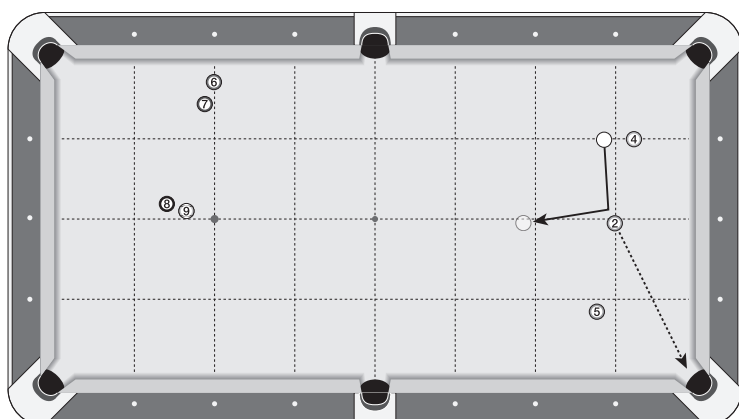


【1】①を押しで入れて②に厚めに出す

①右上コーナーはほぼ真っ直ぐだが、若干右に振れているので、弾いてしまうと②に近付いてしまう。真上をきれいに押して力加減で②に厚めに出す。全厚を限度に少し左フリにしておけば、②から④へは短クッション1クッションでうまく出せそう。

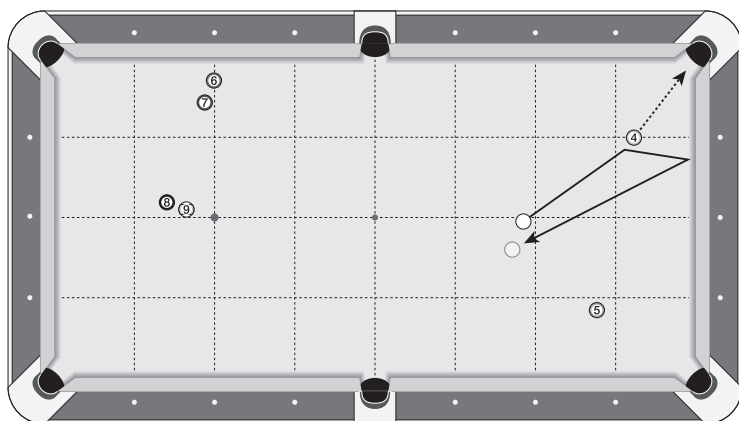
※右フリ・左フリ

撞いた後、手球が右方向に行くことを右フリ、左方向に行くことを左フリとしている



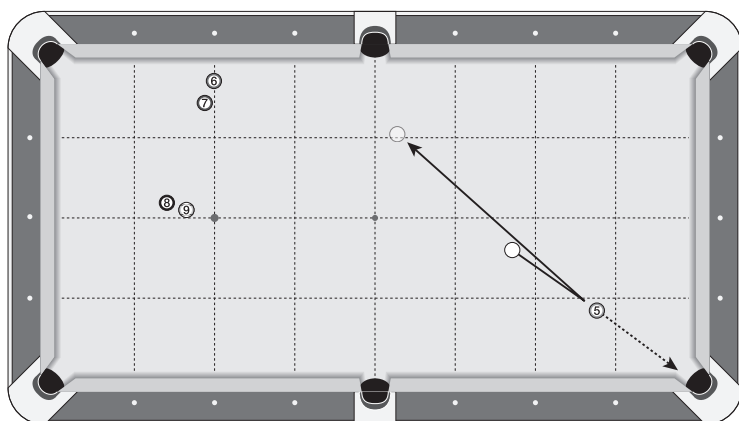
【2】②を右下に入れて④に出す

②に対して若干右フリになってしまった。当初の予定では手球を短クッションに入れて1クッションで出すつもりだったが、押して上の長クッションに入れて出すか、しっかり引きをかけて出すかの2択。小西プロは引きの方がイメージが良いということで、直引きで④に出すことに。引きはしっかりかけるが力加減としてはやさしく。



【3】順ヒネリで④を入れて⑤に出す

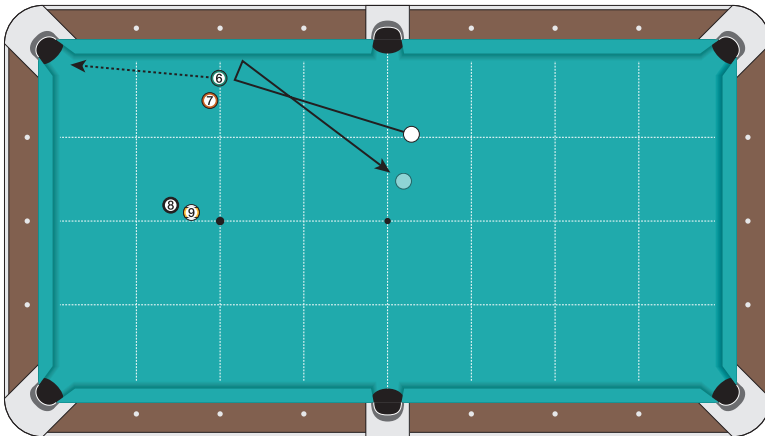
フリとしては良いところに出た。身長や利き手によっては撞きづらい球ではあるが、短に1クッション入れて⑤に出す。撞点は少し順(右)を入れる程度。⑤に全厚に出れば直引き、右フリに入れば下の長クッションを使って出す。薄いので少し走ってしまっ左フリになれば⑤から⑥へは短→長の2クッションで⑥に出す。小西プロは左手(非利き手)で撞くが、無理な場合はメカニカルブリッジを使う。



【4】⑤を入れて⑥に厚めに出す

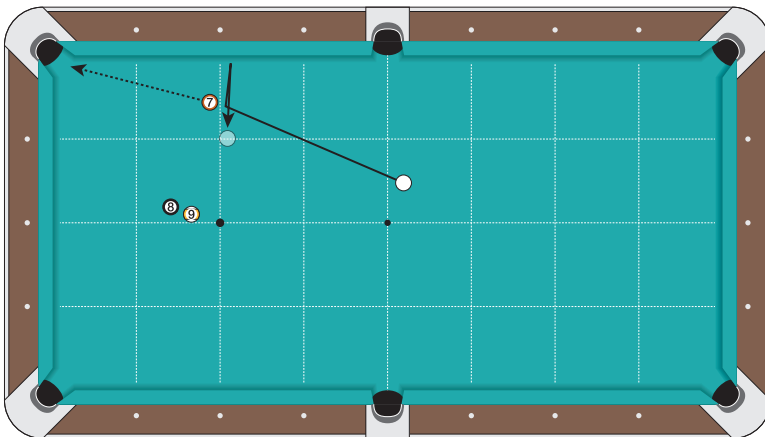
⑤に対して真っ直ぐに出た。手球と的球の距離も近いので直引きで、⑥を撞く際に手が届くところあたりに出す。穴フリで⑤を穴の右側から入れると⑥に厚めに出る。ただし、穴フリにリスクがあるなら真ん中から入れてもよいが、穴の左側から入れると⑥に薄くなるので注意。

小西プロのマスワリ徹底解説



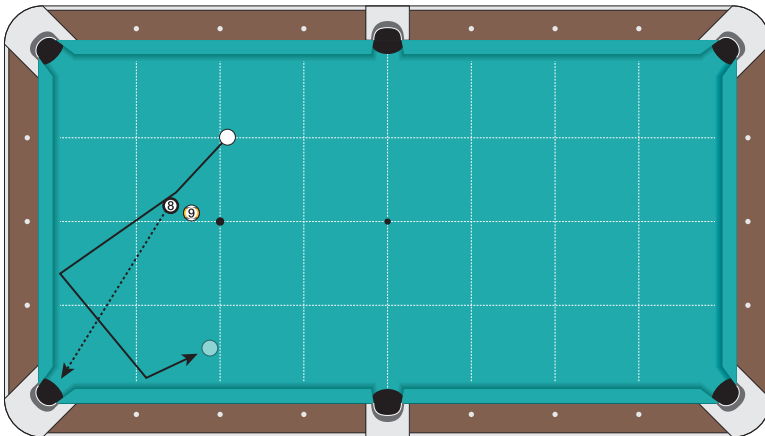
[5] ⑥をスパッと撞いて⑦に厚めに出す

⑥にかなり厚めに出たので、しっかりスパッと撞いて⑦に厚めに出す。⑧へは全厚から右フリのポジションに出せるように。弾き球でパチンと撞くと的球が穴カコ(穴前でカタカタして入らないこと)してしまう可能性もあるので、入る範囲内でしっかり撞く。撞点は真ん中から少し下。撞きやすい位置に手球を運びたい場合は少し順(右)を入れる。



[6] ⑦を入れて⑧に厚く出す

的球からは少し離れたが、撞きやすい位置に出た。⑦はストップから少し引くぐらいで入れる。⑧に対して左フリになる出しだけはNG。左フリになると⑧を入れる時に手球が⑨に当たってしまうので、それだけは避けるように気を付ける。手球が土手にくっ付かないようにしっかり撞く。撞点は真ん中ちょっと下。あまり順(右)を入れすぎると走りすぎてしまうので、控えめに。



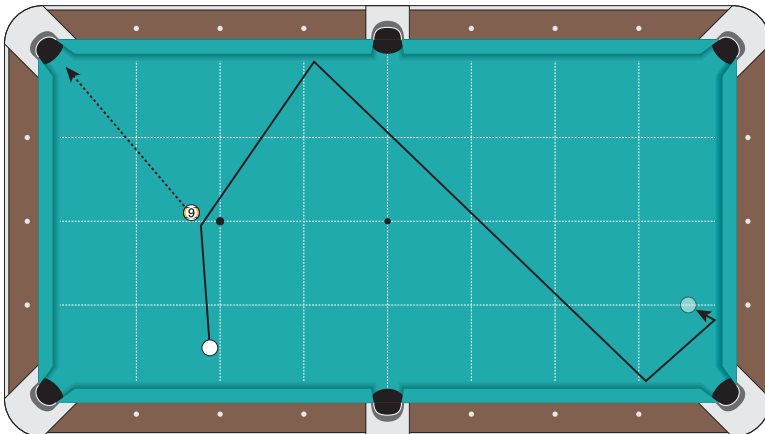
[7] 切り返して⑧を入れて⑨に出す

少し厚めに出た。直引きでも出なくはないが、きれいに引けなかった場合に難しい配置になるので、避けたいところ。厚めなので切り返しを使うのが一番リスクが低い。逆上(左上)を撞いて短→長の2クッションで出す。上の回転をしっかりかけないと第1クッションの位置が手前になりすぎてきれいに出不いので気を付ける。ヒネリは補助程度でOK。



[8] スクラッチ注意で⑨を入れる

少しショートしたが問題ないレベル。順(右)が入ってしまうと右下コーナーにスクラッチする可能性があるなので、真上でしっかり撞く。



Completely imitate the professional "break and run out"

挑戦者のマスワリチャレンジ

いよいよ挑戦者のチャレンジ。ノーアドバイスで3回のチャレンジからスタート。その様子を見ながら編集部と小西プロで実況していく。小西プロがマスワリする様子を、真剣なまなざしで見ていた挑戦者。取り方は暗記できているだろう。では、Let's Challenge!

マスワリ 完コピ挑戦 1回目

①をポケットした際、押しが足りず②に対して薄くなってしまった。これが原因で次の球も薄くなり手球を弱くコントロールすることが難しくなり、結局は3球目となる薄い④を厚めに外してしまった。①から②への出しの失敗が、リカバリー困難な状況を作ってしまったといえる。

3球目で失敗…。

Samia's
eye

②への出しがショートしたことでその後が苦しくなっていました。イメージがあれば④は短一短のバタバタでもいいかもしれません。⑧⑨もあるので選択しづらいですが、最終手段として考慮してみましょう。

①から②への出しがショート

マスワリ 完コピ挑戦 2回目

2回目も①を入れた後の手球の押しが足りなかった。しかし②を撞く際に逆ヒネリを入れて手球を失速させることにより④に対しての出しでリカバリー成功。ただ、④が厚めギリギリからポケットしてしまったため思ったより手球が走らず、⑤に対して右フリ薄めに出してしまう。そのため⑥へは長一長のバタバタで出さざるを得なくなり、2クッション目をサイドスクラッチしてしまった。

4球目で
失敗…。

Samia's
eye

⑤から⑥への出しは、撞点が真上だとスクラッチしてしまいます。あらかじめサイドポケットの手前に出すか、向こうに出すかをしっかり決めるようにしておきましょう。逆を入れて手前に出して撞きやすさを選択するか、順を入れて⑥に近付けるか、自分の得意な方を選択してみてください。

⑤から⑥への出しでスクラッチ

Completely imitate the

professional "break and run out"

マスワリ完コピ大作戦

挑戦者のマスワリチャレンジ

マスワリ
完コピ挑戦

3回目

これまでの2回、いずれも②への出しが薄くなったが、若干右微フリの①が、今回は良い厚みに出た。前半で最も肝になるポイントだ。②は問題なくポケットするも④は撞きづらい位置のため、メカニカルブリッジを使用。きれいに真上を撞いて⑤には厚めのやや左微フリの良い位置に出た。しかし、⑥へ直引きで出すつもりがきれいに引けず、ロングが残ってしまう。ロングでも厚めの球は得意な挑戦者、しっかり撞いてポケット。しっかり撞いた分、⑦へは少し遠く厚くなったものの、きれいに転がっていい位置にポジション。⑧⑨は小西プロとほぼ同じポジション、撞き方で見事マスワリ成功！

Kurimoto's
eye

このマスワリでのポイントは①から②、⑦から⑧への出しだと感じた。3度目の正直で②への出しを成功させた後、⑦から⑧は優しいタッチできれいに転がす必要がある難しい出し。これが絶妙に決まったところでマスワリ成功の確率がグッと高くなった。⑧⑨は普段通り撞けば問題ない。3回目できっちり成功させるあたり、さすがこの挑戦に際して小西プロの動画を見て取り切り練習をしてきたというだけのことはある。

マスワリ 成功!



小西プロによる マスワリ解説&ミニレッスン

付録DVDでは今回のマスワリの振り返りで、別の取り方パターンにも挑戦。また、挑戦者が難しいと思った配置、メカニカルブリッジを使った撞き方のコツなど、ミニレッスンも収録しています。ぜひご覧ください。

マスワリするに当たって 大事なこと

——マスワリするに当たって重要なことは
どんなところでしょう？

小西さみあ(以下、小) ブレイクについても触れますか？

——今回は完全コピーということでブレイクはしませんでした。ぜひブレイクについても教えてください。

小 マスワリするうえでブレイクは非常に大事です。一番大事なのは手球と①との関係性ですね。①はブレイクでは入れないようにして、①が隠れたり入れがないようなことにならないように自分なりのブレイクを持っておくことが大事です。

——ブレイク後についてはどうでしょうか。

小 まずは、ぱっと見の印象で難しいポイントを見極めることですね。例えばトラブルがある場合はどこでどう崩せそうか、などを見ておきます。

——マスワリ配置(出来配置)の場合は、サクサクッと切り切っていけばいいですか？

小 出来配置の場合でもちょっとした力みやミスで想定外のことが起きる場合もあります。そういう場合でも最初にきちんと全体像を把握していれば、慌てずにリカバリ

——して組み立て直すことができます。どんな出来配置であっても油断はせず、やることはしっかりやる必要があります。

——良い配置だと「ラッキー」と思って油断してしまいます。

小 「ラッキー」と思うことは悪くはないです。「ダメだ……」などとネガティブに考えるよりはポジティブな心持ちの方が良いのですが、それで油断して調子に乗り過ぎちゃうのはよくないですね。

——ミスしちゃうと引きずってしまいます。

小 ミスはミスで受け入れて気持ちを切り替えた方が良いでしょう。気持ちを切り替えて頑張ってリカバリする、試合ならマスワリではなくセーフティでしのぐという手もあります。状況に応じて落ち着いて柔軟に対応したいですね。もちろん練習だったらマスワリにこだわってバンクを使うなど入れ繋ぐようなチャレンジも良いと思います。いわゆる「マスワリ練習」も大事ですね。そういう練習をした上で試合に臨めば、いざという時は攻めることもできるし、冷静に守ることもできるし、両方の考えができると思います。

